

国語－１（第１学年） 日常生活の中の話題について報告する事例（話すこと・聞くこと）
【学習活動の概要】

1 単元名	「体験入部」の報告をしよう ～聞き手の反応に注意して分かりやすく話す～													
2 単元の目標	自分の体験を基に報告する内容を選んで話を構成し、話す速度や音量、相手に分かりやすい語句の選択などの知識を生かして話すことができる。													
3 評価規準	<p>【国語への関心・意欲・態度】 聞き手にとって分かりやすい報告にするために、話し方や話す言葉に注意して話したり、聞いたりしようとしている。</p> <p>【話す・聞く能力】 話をする場や聞き手の立場に応じて、分かりやすい言葉を選び、適切な速度や音量で話したり、他の人の話し方の良さに注意して聞き取ったりしている。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 話をする上で必要な音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解している。</p>													
4 題材	体験入部の報告													
5 主な学習活動	(1)単元の展開（全3時間）													
<table border="1"> <tr> <th data-bbox="255 929 359 996"></th> <th data-bbox="359 929 949 996">学習活動</th> <th data-bbox="949 929 1404 996">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> <tr> <td data-bbox="255 996 359 1131">第1時</td> <td data-bbox="359 996 949 1131">学習の見通しをもつ。 体験入部で活動したことや分かったことの中から伝えたいことを選び、報告メモを作る。</td> <td data-bbox="949 996 1404 1131">○報告するという具体的な言語活動を通して、第1時では、「聞いて分かりにくい言葉」がないか考えさせる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1131 359 1265">第2時 (本時)</td> <td data-bbox="359 1131 949 1265">報告メモを基に、ペアで報告を行う。 報告メモを基に、グループで報告し合う。 報告を聞いて、聞き手の人数や立場に応じて話す際の注意点について話し合う。</td> <td data-bbox="949 1131 1404 1265">○第2時では、主に「話す速度や音量」に注目させる。音声の働きや仕組みについて、必要な知識を学習させる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="255 1265 359 1444">第3時</td> <td data-bbox="359 1265 949 1444">全体で報告をするに当たり、必要に応じて報告メモを修正する。また、大人数の前で話すときの注意点を確認する。 全体の前で報告を行い、話し方の良さや自分が話すときの注意点について話し合う。</td> <td data-bbox="949 1265 1404 1444">○全体での発表は数名の生徒を選んで行い、良さを指摘させる。その他の生徒にも、学級活動等で報告させる。</td> </tr> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第1時	学習の見通しをもつ。 体験入部で活動したことや分かったことの中から伝えたいことを選び、報告メモを作る。	○報告するという具体的な言語活動を通して、第1時では、「聞いて分かりにくい言葉」がないか考えさせる。	第2時 (本時)	報告メモを基に、ペアで報告を行う。 報告メモを基に、グループで報告し合う。 報告を聞いて、聞き手の人数や立場に応じて話す際の注意点について話し合う。	○第2時では、主に「話す速度や音量」に注目させる。音声の働きや仕組みについて、必要な知識を学習させる。	第3時	全体で報告をするに当たり、必要に応じて報告メモを修正する。また、大人数の前で話すときの注意点を確認する。 全体の前で報告を行い、話し方の良さや自分が話すときの注意点について話し合う。	○全体での発表は数名の生徒を選んで行い、良さを指摘させる。その他の生徒にも、学級活動等で報告させる。		
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点												
第1時	学習の見通しをもつ。 体験入部で活動したことや分かったことの中から伝えたいことを選び、報告メモを作る。	○報告するという具体的な言語活動を通して、第1時では、「聞いて分かりにくい言葉」がないか考えさせる。												
第2時 (本時)	報告メモを基に、ペアで報告を行う。 報告メモを基に、グループで報告し合う。 報告を聞いて、聞き手の人数や立場に応じて話す際の注意点について話し合う。	○第2時では、主に「話す速度や音量」に注目させる。音声の働きや仕組みについて、必要な知識を学習させる。												
第3時	全体で報告をするに当たり、必要に応じて報告メモを修正する。また、大人数の前で話すときの注意点を確認する。 全体の前で報告を行い、話し方の良さや自分が話すときの注意点について話し合う。	○全体での発表は数名の生徒を選んで行い、良さを指摘させる。その他の生徒にも、学級活動等で報告させる。												
(2)本時の学習（2/3時間）	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="255 1523 1404 1982"> <p>① 前時を振り返り、本時の目標（聞き手にとって分かりやすい内容になっているかを確認、適切な速度や音量で話す力を付ける。）を確認する。</p> <p>② 報告メモを基に、グループ内で報告したり聞いたりする。 ＜聞き手の役割＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手（前時に報告を聞いている聞き手）は、話し手から最も離れた席に座り、適切な速度や音量で話しているかに注意して聞く。 ・ペアの相手以外の聞き手は、内容の分かりやすさに注意して聞く。 ・発表について良かった点、アドバイス、感想などを付箋に記入し、話し手に渡す。 <p>③ 評価カードを基に、聞き手の人数や立場に応じて話をする際の注意点を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのときとグループのときの報告の違いについて、気付いたことを発表する。 ・学級全体に対して報告するとき、どのようなことに注意するか考える。 <p>④ 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習からどんなことを学んだか。次の時間（全体での報告）に、注意したり工夫したりすることはどんな点か。 </td> </tr> </table>		<p>① 前時を振り返り、本時の目標（聞き手にとって分かりやすい内容になっているかを確認、適切な速度や音量で話す力を付ける。）を確認する。</p> <p>② 報告メモを基に、グループ内で報告したり聞いたりする。 ＜聞き手の役割＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手（前時に報告を聞いている聞き手）は、話し手から最も離れた席に座り、適切な速度や音量で話しているかに注意して聞く。 ・ペアの相手以外の聞き手は、内容の分かりやすさに注意して聞く。 ・発表について良かった点、アドバイス、感想などを付箋に記入し、話し手に渡す。 <p>③ 評価カードを基に、聞き手の人数や立場に応じて話をする際の注意点を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのときとグループのときの報告の違いについて、気付いたことを発表する。 ・学級全体に対して報告するとき、どのようなことに注意するか考える。 <p>④ 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習からどんなことを学んだか。次の時間（全体での報告）に、注意したり工夫したりすることはどんな点か。 											
<p>① 前時を振り返り、本時の目標（聞き手にとって分かりやすい内容になっているかを確認、適切な速度や音量で話す力を付ける。）を確認する。</p> <p>② 報告メモを基に、グループ内で報告したり聞いたりする。 ＜聞き手の役割＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアの相手（前時に報告を聞いている聞き手）は、話し手から最も離れた席に座り、適切な速度や音量で話しているかに注意して聞く。 ・ペアの相手以外の聞き手は、内容の分かりやすさに注意して聞く。 ・発表について良かった点、アドバイス、感想などを付箋に記入し、話し手に渡す。 <p>③ 評価カードを基に、聞き手の人数や立場に応じて話をする際の注意点を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアのときとグループのときの報告の違いについて、気付いたことを発表する。 ・学級全体に対して報告するとき、どのようなことに注意するか考える。 <p>④ 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習からどんなことを学んだか。次の時間（全体での報告）に、注意したり工夫したりすることはどんな点か。 														

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

本事例では、中学校学習指導要領・国語の第1学年「話すこと・聞くこと」の指導事項「話す速度や音量，言葉の調子や間の取り方，相手に分かりやすい語句の選択，相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。」を指導する。これらの知識は，小学校で既に学習している。それを生かして話すことが音声言語活動の基礎となることを，中学校における学習の初めの段階で理解させる。その際，聞き手の人数や場など，状況に応じて話すことを意識させることが重要である。

関連する内容として，〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕「(1)イ(ア) 音声の働きや仕組みについて関心をもち，理解を深めること。」を位置付ける。音声で伝達する際，声の出し方が大きな影響を与えることを意識させ，併せて，アクセント，イントネーション，プロミネンス（文中のある語を強調して発音すること）などの音声的特質についての知識を指導する。

【言語活動の充実の工夫】

上述の内容を効果的に指導するために，言語活動を設定する。第1学年「話すこと・聞くこと」の言語活動例は，次の2つであり，本事例では，アの言語活動例を具体化した。

- ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり，それらを聞いて質問や助言をしたりすること。
- イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。

自分が経験したことを報告したり紹介したりすることは，学校生活で日常的に行われている言語活動である。また，スピーチについて，小学校で繰り返している。想段おいて自覚させることが大切である。

中学校においても，授業に限らず様々な場面で繰り返される言語活動であるだけに，中学校における学習の初めの段階で，状況に応じて話す意識と，聞き手の反応を見ながら話す習慣を身に付けさせることが大切である。

本単元では，このような能力を育成するために，体験入部の報告を，状況を変えて行うという言語活動を設定した。報告に当たっては，ペア，少人数グループ，全体の3つの場面を設定し，状況に応じて話すことを経験させるようにした。聞き手の人数や場の大きさによって，話す音量が違うこと，また，聞き手の立場によって，自分が分かっている言葉が通じるとは限らないということを経験させ，内容が伝わっているかを確かめながら分かりやすく話そうとする態度と能力を身に付けさせる。また，全体での報告を国語の授業以外の場面につなげていくことで，日常に意識を広げ，実践的な力としての定着を図る。

ワークシートと生徒の記入例

The worksheet is divided into several sections:

- 「体験入部」の報告をしよう** (Let's give a report on the experience of joining the club): A vertical box on the right side.
- 報告会Ⅰ ペアに報告しよう** (Report Meeting I: Let's report to a partner): A box containing a student's report: 「報告するとき気をつけること」 (Things to be careful of when reporting), 「一番後ろの人を見て話す」 (Talk to the person at the back), 「ときどきメモを見て」 (Check the memo occasionally), 「ゆっくり話す」 (Talk slowly), 「練習内容は三つだけ話して」 (Only talk about the three practice items).
- 報告会Ⅱ 生活班で報告しよう** (Report Meeting II: Let's report in the life class): A box containing a student's report: 「報告するとき気をつけること」 (Things to be careful of when reporting), 「みんなも見ながら話す」 (Talk while everyone is watching), 「わからなそうな人がいたら質問を受け付ける」 (Accept questions if someone doesn't understand), 「早口にならない」 (Don't talk too fast).
- 報告会Ⅲ 学校みんなに報告しよう** (Report Meeting III: Let's report to everyone in school): A box containing a student's report: 「報告するとき気をつけること」 (Things to be careful of when reporting), 「一番後ろの人を見て話す」 (Talk to the person at the back), 「ときどきメモを見て」 (Check the memo occasionally), 「ゆっくり話す」 (Talk slowly), 「練習内容は三つだけ話して」 (Only talk about the three practice items).
- 聞き手からの意見・感想** (Comments and impressions from the audience): A box containing a student's comment: 「友達の話聞いて気づいたこと」 (What I noticed from the friend's story), 「(名前) わかりやすい話だね!」 (That was an easy-to-understand story!), 「話したいことが三つあります」 (I have three things I want to talk about).
- 聞き手からの意見・感想** (Comments and impressions from the audience): A box containing a student's comment: 「(名前) ポイントは...」 (The point is...), 「テスラの先輩がやっていたのを知った」 (I knew the senior Tesla was doing it).
- 聞き手からの意見・感想** (Comments and impressions from the audience): A box containing a student's comment: 「(名前) 聞き手は聞きながら話さないといけない」 (The listener has to listen while talking), 「(名前) 聞き手は聞きながら話さないといけない」 (The listener has to listen while talking).